

事業名	佐倉学入門講座・地域人材育成講座 佐倉道を歩く						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育	・	団体育成
日程	10月28日～12月2日	講師	佐倉道を歩く会	参加費	1,000円（保険料）		
対象者	成人	参加者数 (延べ)	48人（審議委員等を含む）	募集方法	チラシ		
趣旨	【佐倉学入門】 佐倉城主が参勤交代で通行した佐倉道を座学と実歩で学び、佐倉道・城下町佐倉周辺の歴史理解を深め愛着を見出すことで郷土意識をもつ 【地域人材育成】 郷土佐倉の歴史を次世代に伝える人材を育成する						
内容	【佐倉学入門】 ・第1回：佐倉道総論座学（5時間） ・第2回～第6回：江戸川～佐倉大手門跡までを実歩（1区約10km） 【地域人材育成】 ・平成30年度「佐倉道を学ぶ」受講生が講師を務める						
工夫	【佐倉学入門】 ・初回到座学を行い、実歩のみでは説明しきれないものを事前に学習するプログラムとした。 ・A5サイズのハンドブックを作成し、街道歩きの際に参照やメモが取りやすいようにした。 【地域人材育成】 ・講師と1区～5区を試行し、時間管理表の作成や、交通上特に気を付ける箇所の事前確認を行った。 ・実歩区間が終わることに反省点等を共有し、実施する期間内でできる改善を図った。						
成果	【佐倉学入門】 ・佐倉と周辺地域の歴史理解を深めることができた ・受講生と講師、共に歴史への学習意欲が高まった 【地域人材育成】 ・昨年度までの受講生が街道での安全確保や案内を行い、講師としての経験を積むことができた。 ・受講生が団体を作り、講座終了後も史跡研究を継続して行っている。						
課題	【佐倉学入門】 ・実歩区間割りの見直し1区間平均10km → 7km～8km 街道上での安全確保…定員制限・参加者へお声かけ 【地域人材育成】 ・受講年齢層の拡大…電子申請サービス受付の検討 学習成果発表の場の確保…市内施設での活動成果の展示、様々な事業の展開をする						

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	・公民館が行う必要があるか。 ・市民や利用者のニーズに合っているか。 ・目的や役割が薄れていないか。 ・事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	・事業の優先度は高いか。
公平性	A	・対象者に情報は流れているか。 ・受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	B	・期待通りの成果が得られているか。 ・さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・市民の満足度は高いか。
効率性	A	・事業の効率性はどうか。 ・事業運営に学習者が参画しているか。 ・他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A：適切で成果が得られている。 B：課題あり、成果はある程度ある。 C：課題あり、成果があまりない。 D：成果が得られていない。
特記		

《凡例》 良い ← A B C D → 良くない	《判定例》 A } A } A } A } A } A } A } A } [A] } B } [A] } B } [B] } A } [A] } B } A } A } A }
-----------------------------	--

次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了 ②：現状規模で継続 ⑤：統合・改善・その他 ③：事業縮小
-------	---	---

☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

総合評価	委員① A	<ul style="list-style-type: none"> ・積み重ねが素晴らしい成果となっている。 ・「歩き、実体験する」という学習活動が分かりやすい。 ・受講生が講師となる流れを、成果確認の方法にできる→他方面への発展も意義深い。 ・多くの参加者を受け入れる方法の工夫が必要か。
総合評価	委員② A	<p>市内各小中学校で取り組んでいる「佐倉学」の、フィールドワークを伴った大人バージョンとも考えられる。人材育成にもつながることであるが、熱中症の心配があまりない晩秋から初冬とはいえ、移動を伴うので安全が最重要となる。また、課題のところにも書かれているが、市民全体の関心を高めるには、何らかの手立てが必要と考える。</p>
総合評価	委員③ A	<p>本格的なフィールドワークであった。コロナ禍で実施困難な中で次期指導者の育成をテーマにおいて活動できているところに質の高さを感じた。育成した指導者を基により多くの方が参加しやすい企画となってくれることを熱望する。</p>
総合評価	委員④ A	<p>自分の住んでいる地域について知ることは次のリーダー育成にも繋がると思います。内容から運営陣の熱意が感じられました。是非継続を。長く歩けない方が実歩をしなくてもよい方法を検討できたら良いと思います。</p>
総合評価	委員⑤ A	
総合評価	委員⑥ A	<p>事業の継続を是非お願いします。 佐倉の歴史を次世代に伝える人材の育成には期待し、力を入れて頂きたいです。</p>
総合評価	委員⑦ A	<p>過年度に受講した方々が講師を務めるという、地域人材育成の目標が達成したことにはまず拍手を送ります。担当者が変わっても魂がしっかりと引き継がれている証拠だと思います。成功の秘密は「歩く」という適度の疲労感に加え、参加者が求めている知識を注入するところにあるのでしょうか。その観点からいうと、道中の安全確保は課題だと思いますが、1,000円の保険料の負担で、5日間の散策を楽しめる歴史好きの健脚にはたまらない講座内容です。この手法で是非とも「佐倉道」に限らず、地域人材の育成を意図した事業の幅を広げていただきたい。</p>
総合評価	委員⑧ A	<p>○佐倉学の座学を経て現場で歩みながら歴史の再確認をする講座はとても魅力的です。そこに佐倉を郷土として愛着を形成する成果は十分出ていると思います。ずっと佐倉に住んでいる者であっても同じでしょう。この講座で佐倉城主が参勤交代で通行した街道を選んだのは、佐倉藩への理解を深めるねらいとありますが、かつて行列で歩んだ頃とは道路事情が変わっている現代では、よほど視点をはっきりさせないと難しいと思います。そのあたりの効果はどうだったのでしょうか？ ●講座経験者を地域人材として育てるという目的で、今後受講年齢層の拡大を図るために電子申請サービス受付の検討と有ります。学習内容の検討と合わせて是非進めてください。</p>

委員⑨		佐倉道を理解するため、初回に座学を行い、2回目以降に現地を歩くというプログラム構成は良いと思います。受講生のアンケートでも満足度100パーセントという結果が出ており、次年度以降も継続的に取り組まれることを望みます。
総合評価	A	

委員⑩		佐倉藩主が参勤交代で利用した街道を歩く講座は、毎年開講されている「佐倉学入門講座」の一環で、歴史勉学の意欲をかきたてる人気の事業。今回は6回の講座の内1回目は座学で、「しづ市民大学」のかつての受講生である講師陣の努力で作成された素晴らしいハンドブックを基に、佐倉道の解説が行なわれた。このハンドブックは、実際の街道歩きに大いに役立ったと推測されます。実際に街道を歩きながら、講師陣から街道周辺と佐倉の歴史の説明を受け学習する事業は、歴史の知識を習得する貴重な体験であり、継続をお願いしたい。
総合評価	A	

※社会教育法第20条を根拠として評価

委員⑪		〔事業区分〕学術及び文化に関する事業 〔目的〕住民の教養の向上 佐倉道を座学と実歩で体験し、佐倉の歴史の理解を深める事業で継続的に実施されている。佐倉学として良いテーマと思います。 〔改善点〕実歩区間1回10kmの見直しは高齢者、トイレ等の問題を含めて、多くの人に参加できるようにお願いします。 〔提案〕臼井地区の佐倉道は、揆城と天領もあり、臼井古城図では、生谷地区と示されています。ぜひ、古城図を研究して下さい。
総合評価	A	

委員⑫		歴史ある佐倉市への理解をより市民に深めてもらうためのたいへん有意義な事業だと思う。ただ、参加者が実質8名であるのは、佐倉市民全体を対象とする事業としては、あまりに少ないと思う。団体で行動する難しい点があると思うが、無理であれば、せめて資料をホームページに載せ、個人でも経験できるようにしてみたらどうか。
総合評価	B	

委員⑬		歩けないけど講座を受けたいと言う人もいますので、その講座だけ人数を増やす事を望みます。
総合評価	A	

委員⑭		佐倉学は人気講座ということで未経験者優先に受講していただくのは良いことだと思います。希望される多くの方が危険なく受講できるように工夫していただきたいです。
総合評価	A	

委員⑮		○地域知識の継承としての佐倉学入門講座は志津地区の特色で佐倉道を歩くなど評価します。 ○講師も生徒の高齢化が心配です。継承者の育成が急務だと思います。
総合評価	A	